



内科なら肺炎などを調べるため、整形外科なら骨折など外傷の状態を確認するため、治療方針を決定するのにエックス線撮影は欠かせません。

中日病院には、手に特化した整形外科の「名古屋手外科センター」があり、他院からの紹介患者も多いです。手術をやり直す場合もあり、撮影に対するドクターの要求度は高くなります。他院で撮ったエックス線写真よ

④8 放射線科・エックス線



照射範囲や距離を調整して撮影する＝名古屋市中区の中日病院で

り、少しでも情報量を増やすようシビアな撮影が求められます。

手には細かい骨が密集しているため、角度を微妙に変え、いろいろな方向から、見たい部分を写

します。一ミミに満たない指の関節の隙間をきれいに写し出したり、剝離骨

折した一ミミほどの骨片を写す。それでも写らない場合は、エックス線で身体の断面を撮影す

るコンピューター断層撮影（CT）も使います。

昨年、最新のエックス線装置に替え、被ばく線量は半分以下になりました。骨を折ったばかりの人は、なるべく手早く撮

ってあげたい。同時に撮影の正確さも心掛けてい

ます。（花木保之放射線科技師 長・談）

微妙な技が情報量左右



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院 052(961)2491